

疎計画で取り組めないか。

答弁 町長「人口減少に伴う定住促進事業として、平成二十二年度から平成二十七年を計画期間とする、「知名町過疎地域自立促進計画」に過疎地域自立促進特別事業のソフト事業を計画しております。

質問 宗岡副町長は素晴らしい経歴と豊富な知識で町民と気さくに接して来ており、本町のあるべき方向性について熱い思いがあると思うが、その抱負について。

答弁 副町長「私は町民と行政の接点で各種の組織運営や事業等を実施してきました。そのことが町民目線も行政目線も培われたのではないかと思っており、そのことを今後の行政運営に反映できるように努力いたします決意のもと、副町長として町長の職務を補佐すること、行政運営の結果責任を最終的に負担すること、いくら町長が重要な政策を掲げてても役場職員が理解して協力しないと「絵に描いた餅」にしかなりかねません。役場の風通しを良くして、

職員的能力を最大限に発揮させ、それぞれの課のチームワークと役場全体の総合力で町民の期待に応えたい。

消防車の導入について。

町長：水槽付消防自動車の更新に努める。



山田正巳議員

質問 基盤整備地区の精算事務の取り組み状況について。

答弁 町長「団体営で町が事業主体で実施した雪取地区を除きすべて完了した。豊吉事業については、二十四換地区があり、その中で五換地区が完了している。町としては二十二年度から特別会計に計上し受益者説明会を行って随時手がけていきたいと思う。

質問 世界自然遺産に向けての計画の状況について。

答弁 町長「世界自然遺産産登録国立公園指定

ムワークと役場全体の総合力で町民の期待に応えたい。

に向けての前倒した事業はなく、現段階での整備計画はありません。

質問 田皆岬周辺の管理状況について。

答弁 町長「これまでは田皆字育成会が町の助成を受け空き缶拾いや遊歩道の伐採等をしておりましたが、町の財政等の問題もあり助成が打ち切られ現



福田仁之助議員

質問 町道・徳時吉野線は改良工事をするのか、するのであれば、時期は、

小田線大津勤橋の改修について。

町長：耐震強度の調査を行う。

在は行っていません。将来に向けて検討出来ればと思う。

質問 消防車の導入並びに整備の充実に向けた計画について。

答弁 町長「消防車の導入並びに整備計画については今議会においてご審議いただきます。知名町過疎地域自立促進計画の中で消防防災施設等整備補助事業等を計画している。又、水槽付消防自動車の更新に努めるとして平成二十二年度から隔年ごとに整備することとしている。

答弁 町長「二十三年度の、三ヶ年を予定している。二十三年度は、一七〇mの測量設計を行い、二十四、二十五年で改良舗装工事を行う予定です。

質問 町道大津勤橋の改良工事計画はあるのか。

答弁 町長「二十三年度に、社会資本整備「効果促進事業」で町内にある一〇橋とともに「長寿命化修繕計画策定」する為の予算要望を行っているところです。

質問 広報「ちな」について問う。目的と役割は。

答弁 町長「住民に対して行政情報等をお知らせするのが、大きな役割であります。情報の共有のため、住民の理解や協力を求めることも必要となります。島外在住の出身者にも、愛読をいただいております。愛読を知る、大切な情報紙となっております。ふるさとに寄付をして戴いた方々にも、送っています。

質問 広報に掲載するのに基準はあるのか。

答弁 町長「基準はなく、基本的には、行政情報、町民へお知らせすべき事項、各種行事等を中心に掲載。その他は、国、県からの表彰等や各種団体の活動状況などです。これら以外は、公共性が高く、それ